裏山　２０１９

ここ最近、朝、学校に来ると一番に目につくのが、体育館と職員玄関の間にあるヤマモモの実が地面に大量に落ちていることです。あたり一面という表現は少し大げさではありますが、ヤマモモの木の下は一面落ちた実で覆われています。

私が幼いころは、山の中に入って、こうしたヤマモモの実だとか野いちご(へびイチゴ？)の実、くわの実などををそのままもいで食べたり、名前は覚えておりませんがある種の花の蜜を吸うといったこともありました。(お腹を壊す恐れがあるのでおすすめしません)そしてこうしたちょっと食べられる野草等の生育している場所の近くに「秘密基地」をつくって楽しんでおりました。(ちなみに生まれも育ちも横浜です)

昨日は週に一度の「裏山開放のロング昼休み」多くの子どもたちが裏山に集まり、舗装されていない道を登り、小さな自然を楽しみました。細い道を行きかうときは、互いに少し半身になったり、みんなが集中するような場所は、ちゃんと順番を守ったり、そんな中でも子どもたちは木々に触れ、土をさわり、少しだけ緩んだ地面に足を取られそうになりながら楽しく遊んでいました。こうした身近なちょっとした自然体験ができるのも釜利谷小の自慢の一つです。